

# JIS

## 情報交換用 CD-ROM の ボリューム構造及びファイル構造

JIS X 0606 : 2025  
(ISO/IEC 9660 : 2023)  
(OITDA/JSA)

令和 7 年 11 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第二部会 電子・情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	河合 和哉	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	相蘭 敏子	株式会社日立製作所
	足立 朋子	株式会社東芝
	石井 紀彦	日本放送協会
	上原 まひる	ソニー株式会社
	加藤 徳子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会
	杉山 美佐和	一般財団法人日本消費者協会
	高岡 詠子	上智大学
	中西 孝子	昭和医科大学
	長瀬 亮	国立研究開発法人情報通信研究機構
	永沼 美保	日本電気株式会社
	福田 健太郎	日本アイ・ビー・エム株式会社
	山本 浩司	日本電信電話株式会社
	渡辺 靖晃	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 2.11.1 改正：令和 7.11.20

官 報 掲 載 日：令和 7.11.20

原 案 作 成 者：一般財団法人光産業技術振興協会

(〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル TEL 03-5225-6431)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第二部会 (部会長 古関 隆章)

審議専門委員会：電子・情報技術専門委員会 (委員長 河合 和哉)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 表記方法	4
4.1 十進法及び十六進法表記	4
4.2 その他の表記	4
5 コンFORMANCE (適合性)	4
5.1 CD-ROM のコンFORMANCE	4
5.2 情報処理システムのコンFORMANCE	4
6 媒体に対する要求事項	5
7 ボリューム構造	5
7.1 CD-ROM 上のデータ配置	5
7.2 ボリュームスペースの配置	5
7.3 データエリアの配置	6
7.4 エクステンツの配置	6
7.5 ファイル構造	9
7.6 ボリュームセット	10
7.7 ボリュームディスクリプタ	11
7.8 ディレクトリ構造	12
7.9 パステーブル	14
7.10 レコード構造	16
8 ディスクリプタフィールドの記録	17
8.1 8ビット数の数値	17
8.2 16ビット数の数値	17
8.3 32ビット数の数値	18
8.4 文字集合及び符号化	18
8.5 ファイル識別子	20
8.6 ディレクトリ識別子	21
9 ボリュームディスクリプタ	21
9.1 ボリュームディスクリプタのフォーマット	21
9.2 ブートレコード	22
9.3 ボリュームディスクリプタセットターミネータ	24
9.4 プライマリボリュームディスクリプタ	24
9.5 補助ボリュームディスクリプタ及び拡張ボリュームディスクリプタ	31

	ページ
9.6 ボリュームパーティションディスクリプタ	36
10 ファイル及びディレクトリディスクリプタ	38
10.1 ディレクトリレコードのフォーマット	38
10.2 ファイルディレクトリレコード間のファイル属性の整合性	41
10.3 ディレクトリレコードの順序	42
10.4 パステブルのレコードのフォーマット	43
10.5 拡張属性レコードのフォーマット	44
10.6 ファイルの拡張属性レコード間におけるファイル属性の整合性	48
11 互換性のレベル	48
11.1 一般	48
11.2 レベル 1	48
11.3 レベル 2	49
11.4 レベル 3	49
12 システムに対する要求事項	49
13 システムの説明	49
14 作成システムに求められる要件	49
14.1 一般	49
14.2 ファイル	49
14.3 ディスクリプタ	50
14.4 システム領域	53
15 読み出しシステムに求められる要件	53
15.1 一般	53
15.2 ファイル	53
15.3 ディスクリプタ	53
15.4 制限事項	54
15.5 実行プロセスのレベル	54
附属書 A (参考) ISO/IEC 646 : 国際基準版 (IRV)	55
附属書 B (参考) ISO 9660:1988 及び Joliet 規格 : 変更点	58
解 説	61

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人光産業技術振興協会 (OITDA) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS X 0606:1998** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

# 情報交換用 CD-ROM の ボリューム構造及びファイル構造

## Volume and file structure of CD-ROM for information interchange

### 序文

この規格は、2023 年に第 1 版として発行された **ISO/IEC 9660** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

### 1 適用範囲

この規格は、情報処理システムのユーザ間で情報を交換するためのコンパクトディスク読み出し専用メモリ（以下、CD-ROM という。）のボリューム構造及びファイル構造について規定する。

この規格は、次の事項を規定する。

- ボリュームの属性及びボリュームに記録するディスクリプタ（記述子）
- ボリュームセット（ボリューム集合）におけるボリューム間の関係
- ファイルの配置
- ファイルの属性
- アプリケーションプログラムの入力又は出力データストリームをレコードセット（レコードの集合）として構成することが要求される場合に用いるレコード構造
- 媒体交換のための 3 段階のネストレベル（ネスト水準）
- 実装のための 2 段階のネストレベル
- 異なるシステム間で CD-ROM による情報交換を可能にするために、情報処理システムが提供する処理に対する要求事項。そのためにこの規格では、規格に適合した CD-ROM を作成又は読み出しすることを目的としたシステムで提供される機能を規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO/IEC 9660:2023**, Information processing – Volume and file structure of CD-ROM for information interchange (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。